



コースNo. 111 ★東京・大阪発着

自然と共に暮らしかから学ぶ旅 「何もなくて豊かな島」フィリピン・カオハガン島

7日間

旅行代金(東京・大阪発着) お一人様あたり

出発日	旅行代金(燃油サーチャージ込)
9月9日(水)	176,000円

全員相部屋利用です。一人部屋希望はお受けできません。

- 食料:朝食5回・昼食5回・夕食5回(機内食除く)
 - 最少催行人員:6名
 - 添乗員:添乗員は同行しません。カオハガン島のスタッフがお案内します。
 - 利用予定ホテル:カオハガン・ハウス
 - 利用航空会社:フィリピン航空(エコノミークラス)
 - 必要ビザ:なし
 - パスポート残存期間:帰国時まで有効なもの。
(日本・韓国籍以外の方は大使館にご確認ください)
- ※下記は旅行代金に含まれませんので、旅行代金と併せてお支払い下さい。(2020年3月1日現在)
日本国内の空港施設使用料(成田:2,130円、関空:2,780円)、旅客保安サービス料(成田:530円、関空:320円)および国際観光旅客税1,000円

日程

1	9/9(水)	成田・関空 セブ カオハガン島	【13:00~17:00】空路、セブへ(直行または乗継) 【夜~深夜】到着後、ポートでカオハガン島へ	🇵🇭カオハガン島 🇯🇵🇯🇵
2	9/10(木)	カオハガン島	【午前】オリエンテーション/島内散策 カオハガン島の歴史や島創りの理念について話を聞き、島内の村役場や小学校などを見学します。 【午後】島の子どもたちと交流 【夕刻】はじめてのワークショップ	🇵🇭カオハガン島 🇯🇵🇯🇵
3	9/11(金)	カオハガン島	【午前】カオハガン島の沖に広がる熱帯珊瑚礁保護区にてシュノーケリング 事前に熱帯珊瑚礁の生態や「エコシステム(浄化作用)」、海洋環境の保護についてのレクチャーを受け、理解を深めます。 【午後】島のお仕事見学 自然の中から生まれるクラフトや食品の制作過程や工場の見学、つくっている島民たちへのインタビューを通して地域に根ざした産業について考えます。 島の伝統的なクラフト作り、または珊瑚礁や貝を使ったアクセサリ作り	🇵🇭カオハガン島 🇯🇵🇯🇵
4	9/12(土)	カオハガン島	【終日】島民の家庭で生活体験 島の家族と一緒に一日を過ごし、自然と共に暮らす「豊かに暮らす」を体験します。 【夕刻】日中共に過ごした島の家族と交流パーティー	🇵🇭カオハガン島 🇯🇵🇯🇵
5	9/13(日)	カオハガン島	【終日】自由行動 ※希望者は現地にて釣り体験や、干潮の時にだけ現れる島のモスドンへのオフショールツアーなどにご参加いただけます。(現地申込、実費ご負担ください)	🇵🇭カオハガン島 🇯🇵🇯🇵
6	9/14(月)	カオハガン島 セブ	【午前・午後】島への感謝 これからはカオハガン島が豊かな魅力を持ち続けられるように、何が必要か、訪れた自分たちに何かできるのか、を参加者全員で考え、実際に活動を行います。(例:緑を増やす活動、島をきれいにする活動など) 【夕刻】まとめのワークショップ	🇵🇭カオハガン島 🇯🇵🇯🇵
7	9/15(火)	成田・関空	【早朝】ポート・専用車で空港へ移動、空路、帰国の途へ(直行または乗継) 【午後】到着後、解散	🇵🇭🇯🇵🇯🇵

旅行企画・実施 全国大学生生活協同組合連合会 旅行センター

※上記スケジュールは、現地事情により変更となる場合があります。



私たちがご案内します。

崎山 克彦(中央右):

大手出版社にて国際文化交流の仕事に長年従事。1991年からカオハガン島に移り住み、当時330人いた島民たちと信頼関係を築きながら、世界のモデルになるようなコミュニティ創りを続けている。

「島民たちの『自然と共に暮らす文化』には、私たちがすでに忘れてしまっている重要なヒントがたくさん含まれていると強く感じています。この文化を今後そのままに保ち、『自然との関係』、そして『他の文化との交流』も大切に、豊かな暮らしを送りたい。今この『情報・消費社会』の真ん中でいてその果実を享受しながら、同時に将来への不安を感じ始める私たちの、自分の『島』での暮らし、環境を直すことに役立ててもらいたいと考えています。」

杉浦 佑子(左):

京都大学在学中に当スタディツアーに参加。その後、カオハガン島をテーマに卒業論文『学び合う観光』を記す。2014年から島に移住。島の男性と結婚、第一子を出産し、島で子育てをしている。今回コーディネーターを務めます。

「これまで絶対安泰だと言われてきた大企業ですら、何が起るかわからない時代。一人一人、人生をどう生きたいか、が問われているように感じます。こうあらねばならないと迫ってくる社会から一旦離れ、喜びや楽しさといったシンプルな感情を感じられるようになったとき、一人一人の人間が、その人らしく生きる世界が、その人を起るに広がっていくのではないだろうかという思いで当ツアーをコーディネートしています。」

エラミル 嘉恵(右):

日本でカオハガン・キルトを販売していたことがきっかけでカオハガン島を知り、魅了される。インドの伝統工芸品デザイナーとして、自身の学びを還元したく、2015年に島に移住。島の男性と結婚し、第一子を出産。素朴な島の生活に順応し、自然が教えてくれる真実を学ぶ日々を送っている。

「自然に囲まれたカオハガン島で過ごすとき、せわしなく動かし続けているマインドを休め、カオハガン島の海のように静かな安らぎを与えてくれます。島民や仲間の笑顔、心地よい風、眩しい太陽、美しい星空。全身でカオハガン島を感じて、ありのままに自分を表現できる、そんなツアーのお手伝いができればと思います。」

あんしん24 海外旅行保険&サポート付き! 早期学割 10,000円割引
CO-OPあんしんダイヤルで24時間対応! (インフルエンザ等の旅行代金より) ●6/15(月)までにお申し込みの方対象。

カオハガン島全景



贅沢な自然の恵みと 惜しみない愛にあふれた島 カオハガン島

フィリピン共和国の中央部、セブ島から小舟に乗ってほぼ1時間、東京ドームと同じ広さの小さな島。歩いて1周30分のこの小さな島に約650人の島民が暮らしています。この島のオーナーは現在83歳になる日本人男性の崎山克彦さん。幼い頃から海が大好きだったという崎山さんは本当に偶然にこの「夢の楽園」のようなカオハガン島に出会い、一目で恋に落ちたと言います。神の采配としか思えない、うれしい出会いだったそうです。豊かな海洋の自然に包まれて、その恵みをいただき、ゆったりとした時間に身を任せながら、その日を満ち足りて暮らす。モノがあふれ、日々せわしなく過ぎる日本での暮らしから出て、新しい世界を少しだけ覗いてみませんか? 自然との向き合い方、島民との交流のなかで知る愛の本質。きっとあなたの心の中に「何か」が残るスタディツアーです。

「何もなくて豊かな島」フィリピン・カオハガン島 ツアーポイント

島民の働きを作る ~ 経済的自立

色鮮やかな世界的にも評価が高いカオハガン・キルト、機械をまったく使わず一切無添加の手作りコナツツオイル、折れ珊瑚のアクセサリーやロムロムの葉でつくるコースターなど、すべて自然から創りだした地元根ざした産業です。島民へのインタビューや自らの体験を通じて社会と暮らし、仕事のあり方を考えます。

シュノーケリング体験 ~ ここは竜宮城?

珊瑚礁は、世界の海洋面積のたった0.3%なのに海水魚の25%がその珊瑚礁に依存して生きています。カオハガン島の約7倍(36万平方メートル)の広い海域を囲って「カオハガン島熱帯珊瑚礁保護区」を創設しました。自然の中の水族館です。ぜひ覗いて生物の多様性の大切さを感じてください。そして癒やされてください。

島の暮らし体験 ~ 島民と一緒に

島民は自然からたくさんの恵みを直接いただき、そしてそのいただいた恵みに感謝し、皆で分け合って暮らしています。15歳くらいになると自分が一生を生きていくのに必要な暮らしの技術を身につけ、その日その日を焦らずに、ゆっくりゆっくりと暮らしていきます。どうしてみんな幸せそうに暮らしているのか、ぜひ「自然とともにある暮らし」を一緒に体験してください。

自分との対話

~ ゆったりとした時間のなかで、人との交流のなかで

受験勉強や就職活動など、常に周囲との競争を意識せざるをえない環境から離れて、自分自身と向き合う時間は本当に貴重な体験です。参加者同士で話し合う時間もあります。上手く言葉にできないかもしれないけれど、本当に大切なものがつかめるかもしれません。



ロムロムのクラフト



熱帯珊瑚礁保護区でシュノーケリング



ホストファミリーと



2018年夏参加の皆さん

参加者の声 (2019年春参加)

日本女子大学2年

このツアーに参加して良かったと心から感じています。日本という恵まれた環境から抜けだして、世界を見てみたい。「何もなくても豊か」というのは本当なのか確かめてみたい。という思いでこのツアーに申し込みました。が、カオハガン島で過ごした5日間は行く前に想像していたよりもずっと、ずっと素晴らしいものでした。島民の皆さんはいつも思いやりにあふれていて、急に現れた私にも笑顔であいさつをしてくれたり、子供達と一緒に遊んでくれたり、まるで家族の一員が増えたように5日間接してくれました。日本には人も物もたくさんあふれ返っているけれど、島民の皆さんのような心のあたたかさは中々感じられなくなっています。でも、どうしてカオハガン島は日本とは真逆の環境なのに、こんなに皆幸せそうなんだろう。その答えがまさに「何もなくて」ということなのだと感じた旅でした。幸せや豊かさはもっとシンプルなものなのだと思います。電気がなくても、温水シャワーがなくても、私は5日間幸せでした。ないと生きていけないと思っているものは実はなくても生きていけるのだと学びました。生きていく上で重要なものは何か、自分が何に幸せを感じ、何を求めて豊とするのかと分らせてくれた旅でした。カオハガン島でなければ得られない経験だったと思っています。最高の5日間をありがとうございました。